



## 浅川清流環境組合規約についての

## 議案を全員賛成で可決

～可燃ごみ三市共同処理に向け大きく前進～

平成26年第4回定例会は、11月27日から12月19日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案43件、委員会提出議案1件、議員提出議案（意見書）1件を議決しました。（8頁に掲載）

一般質問では、23名の議員が5日間にわたり、市政運営に関して市長等と議論を交わしました。（2～7頁に掲載）



市の鳥 8カワセミ（武蔵国分寺公園にて）

### 可燃ごみの共同処理が動き出しました

市は、日野市、小金井市との可燃ごみ共同処理に向けて施設の建設とその後の運営に関する協議を続けてきました。このたび施設の建設と運営のための一部事務組合「浅川清流環境組合」を本年7月1日に設立することとなり、地方自治法の規定に基づき、その組合規約を関係自治体の議会で議決する必要があることから提案を受け、ごみ対策特別委員会で審査しました。

担当からは「この規約には環境に十分配慮した処理施設を建設することで、周辺環境との調和を図り、安全で安心な生活を確保することが盛り込まれている」との説明がありました。

委員からは「3市での共同処理は妥当だが、処理施設の建設・運営は民主的に行い、情報公開すること。ごみ量削減のための分別や生ごみ堆肥化を促進し、必要以上の施設規模にせず、事業費を抑制すること」といった討論があり、委員会・本会議とも全員賛成で可決しました。

### 資源物の持ち去り行為を禁止するために条例を改正

市は、市が回収しようとする資源物と、自治会・町内会や市から適正な処理業者と認められた者が回収しようとする資源物を、不当に持ち去られることがないよう「廃棄物の処理及び減量並びに再利用に関する条例」を改正し、条例に違反して資源物を持ち去る者に対しては、市長は行為の禁止を命ずることができること、命令に従わない場合にはその旨を公表することができるようにする提案がありました。

### ごみ対策特別委員会では市民と違反事業者とのトラブルを危惧する

委員会では「市民や集団回収を行う団体、事業者に対して改正内容をどのように周知するのか」「正当な回収事業者とそうでない事業者の見分けがつく方法を検討し、正当な事業者が守られるようにすべきである」さらに「市民が違法な持ち去りを確認した場合、その後の手続きはどうするのか」「市民が指摘することで違法な業者との間にトラブルが生ずることはないか」といった市民の安全を危惧する質問に、担

当からは「市民からの通報を受け、市が現場を確認し禁止命令を出すことで、直接市民が違法な事業者と接することなく、トラブルにならないようにする」との答弁があり、委員会・本会議とも全員賛成で可決しました。

### 4件の一般会計補正予算を可決・承認

市長が専決処分した「国分寺市一般会計補正予算（第4号）」と「同（第5号）」に加え、後に提案された「同（第6号）」と「同（第7号）」を審査するため、補正予算審査特別委員会（委員長：中山ごう議員、副委員長：片畑智子議員）を設置しました。

「補正予算（第4号）」はスポーツセンターの修繕経費を、「同（第5号）」は衆議院議員選挙経費を専決処分したので、その承認を求めるもの、「同（第6号）」は、歳入歳出にそれぞれ2億4,075万2千円を追加するとともに、10件の債務負担行為を追加するもので、歳出の主なものは、保育士の処遇改善事業費、生活保護医療扶助費、成人健康診査費、新可燃ごみ共同処理施設周辺環境整備費、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰出金を増額するもの、「同（第7号）」は、副市長の退職に伴い職員手当を増額するものでした。

### 議案の不適切な表記から撤回・再提案

「補正予算（第6号）」では、市の自転車駐車場の管理運営を指定管理者に行わせるための債務負担行為補正に関し、自転車駐車場名の表記が不正確との指摘があり、市長は議案を撤回し再提案することになりました。

他にも自転車駐車場の指定管理には「利用者アンケートの結果が事業に反映されていない。市と指定管理者で協議しているのか」「指定管理者の企業努力、創意工夫の範囲を広げるべきだ」といった質疑があり、指定管理の状況を毎年度評価するための指定管理者評価票に、すでに閉鎖された自転車駐車場の記載があり、それをもとに適正とした評価委員会の評価の信憑性を問い、「客観性、妥当性の求められる評価の適切な方法を早急に検証すべきだ」と指摘がありました。債務負担行為補正ではその他に、社

会保障・税番号制度導入支援アドバイザー業務委託では「個人情報に関わる項目もあり、民間業者に任せず、市職員がやるべきではないか」まちづくりセンター協働業務運営委託では「公募型だが前回の応募は1事業者。競争性の働く募集の仕方と、協働のメリットが発揮できるような工夫がほしい」等の質疑がありました。

歳入に関する主な質疑としては、「国が保育緊急確保事業費補助金の補助要綱を定めたが、市の自由裁量が制限されるのか」「地域生活支援事業補助金が減った理由は何か」「保育士等処遇改善事業補助金は、本当に保育士に配分されているのか」

歳出に関する主な質疑としては、「ごみ分別アプリには、使いやすい機能の追加と、市民への十分な周知を」「市立公園の遊具は故障したままにせず、速やかな修繕を」等といった質疑がありました。

委員会・本会議とも採決に先立ち「保育士等処遇改善事業はしっかり進めてほしい。社会保障税番号制度アドバイザー委託は市が行うべきもの。自転車駐車場の指定管理の弊害が露呈している。直営に戻すべきである」といった討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

その他の補正予算は、いずれも委員会・本会議とも全員賛成で承認及び可決しました。

### 各公民館運営審議会を統合する議案を賛成多数で可決

市内5つの公民館それぞれに設置されている公民館運営審議会（以下「公運審」）を一つに統合するため、「市立公民館設置及び管理に関する条例」を改正する提案がありました。併せて各公民館に「（仮称）国分寺市公民館運営サポート会議（以下「サポート会議」）」を設置する考えが示されました。

文教子ども委員会では、委員から「一本化された公運審と新たなサポート会議の役割と委員構成」「公運審を一本化する目的と今後の目標」について確認されたのち、「地域の実情に合わせた特色ある公民館となるようサポート会議を運営すべき」との質疑があり、賛成多数で可決しました。

本会議では、採決に先立ち「国分寺市の公民



館活動は、地域に根差した取組を行っており全国的に見ても進んでいる。その役割を担ってきたのが公運審である。今回公民館事業を活性化し発展させるための一本化というが、各公運審を残し、全体を議論する場を新たにつくること

が公民館活動を発展させる。サポート会議では公運審の代わりとはならない」「担当は各地域に応じた活動の必要性を認めている。現状の体制を維持し、各公運審が集まって協議する場の設置を求める」「公民館活動は、地域福祉推進

の面からも評価ができる。各館の公運審の存在は重要であり、この改正では地域コミュニティ醸成機能を手放し、地域の担い手が見えなくなる可能性がある」との反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

市政を問

## 平成26年第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

## 市財政の改革こそ課題



自民党・市民クラブ 村松 俊武

<子育て支援>市長にお尋ねします。国分寺市は、待機児ゼロの考え方をお持ちですか。まちの人口を若返りさせ、若い人口を増やしていく。市長から「子育て環境をしっかりとつくっていききたいという基本方針です。ゼロを目指して女性の社会進出という観点からも待機児がないようにしていきます」との答弁でした。村松から保育の質を高めていくことが重要と指摘。

<教育ビジョン>今年度まとめる教育ビジョンの柱について質問。教育長は「子どもの生きる力を育む教育活動を推進することが重要」と答弁。村松は、前回学力の充実、クラブ活動の重要性、いじめをなくすなど取り上げたが、教育実践を、もっと市民にアピールしてほしいと訴えました。

<歴史のまち国分寺>文化財の保存のための施設計画は、郷土博物館の整備との位置づけですが、実施計画は、凍結となっています。将来の武蔵国分寺をどうしていくかという議論が必要だと述べました。また、今後の文化財の保存とくに無形文化財、例えば、おはやしを市として位置づけてはどうかと質問しました。現在は無形文化財の指定は1つもなくて、28年度に調査する予定との答弁でした。

<市財政の改革>再開発のスタートによって、国分寺がよくなっていく姿を市民に示せました。市民の表情から読みとれます。これからは、待機児ゼロで市長ががんばっている。保育の質も高めていく。教育の現場も努力している。住みよい、緑も残し、ぶんバスで交通の便のよくなる。まちが明るくなって、みんなの気持ちも豊かになって、歴史のまちもよくなる。総合的なレベルアップ、住みよいまちへの方向性を是非と、市長に求めました。井澤市長から「国分寺市を元気にしたい。国分寺市にはいいものがたくさんある。国分寺市はこれから発展する可能性が一番高い。そういうものをアピールしていきたい」と熱く語られました。村松は、みんなが読みたくなる市報の改善も求めました。そして、市財政の改革こそ課題だと訴えました。

## 安心なまちづくりは小さな声を聴くことから



公明党 さの 久美子

## 1. 安全・安心のまちづくりについて

(1)「黄色いハンカチ作戦について」災害時「我が家は大丈夫」という目印として、道路から見える場所に黄色いハンカチを掲げるしくみ。短

時間で「安否確認」ができる効果的方法。共助の仕組みとして、災害時要援護者安否確認に取り入れてはかがか。市)検討してまいりたい。

(2)子育てファミリー向け防災ハンドブック読み手に配慮した大きさ、色刷りにすべき。活用法は。市) 保育所、親子ひろば、児童館、HP等で活用し、防災教育等に展開していきたい。

(3)視覚障がい者用ラジオについて 視覚障がい者の大事な情報入手手段である「テレビを聴けるラジオ」を日常生活用具給付事業指定品に追加すべきではないか。市) 指定品は来年度見直しをしていくため、その中で検討したい。

(4)市民防災まちづくり学校について 防災分野の女性リーダーを輩出するためのカリキュラムを加えるべき。受講者への配慮として、出席しやすい体制を。市) 来年度、考えていきたい。

## 2. ペアレントメンターについて

自閉症や発達障がいの子どもの持つ親への支援策。発達障がい児を育てた経験のある親が相談を受ける事業を市としても取り組むべき。市) ペアレントメンター養成研修の紹介などの窓口になるように、今後事業展開をしていきたい。

## 3. 認知症対策について

(1)認知症高齢者やその家族、地域住民が集える認知症カフェの来年度設置を求める。市) 実現にむけ、実務的な検討をしていきたい。

市長) 前向きに検討していきたい。

(2)認知症予防について 健康な歯の持ち主は認知症になる確率が低い。市の成人歯科検診とリンクさせて周知すべき。市) 重要な視点。歯科検診チラシの改良やHPのリンクも実施したい。

(3)昨年は小学校1校で認知症サポーター養成講座が開催された。今後の展開予定は。教育長) 今年度も同じ学校で予定している。この事業が広がるよう支援していきたい。土曜日の授業公開等で親子で受ける授業としてもよいと思う。

## 市長の政治姿勢について今後の重点目標は



自民党・市民クラブ 須崎 宏

問) 市長の政治姿勢について今後の重点目標は。市長) 国分寺駅北口再開発、清掃施設、道路の問題、福祉面において高齢化への医療費対応、子供を産み育てやすい環境、また機構改革等を長期総合計画に盛り込み、元気なまちを全国にアピールできる国分寺をしっかりとつくっていく。

問) 御意見箱の対応について、内容は直接市長が読まれるのか。部長) 政策経営課が1週間程度で取りまとめ市長に報告した後、担当課で対応している状況。

問) 史跡公園整備について現在の進捗状況は。部長) 追加指定について東山道武蔵路が通っている場所では湧水もあり、道路構造面、土木技術面でも重要な構造のようで、学術的な評価の確認が出来たら、追加指定について文化財審議

会の意見等を伺い詳細な検討に入る予定。

問) 相続関係の土地の買収について。史跡指定地内の農地について相続が発生した場合、買収は文化庁の別枠で取り扱うということになっているがこの確認でよろしいか。

部長) 文化庁とはそういう話になっている。

問) 文化財について長屋門の改修工事の進捗状況と天平メニュー、旧花沢橋の鋼材について。

部長) 非常に手続等が遅れており御心配をおかけしている。平成28年度までの工事を予定しており、その工期内でその部分を取り戻していく。天平メニューについて市内に残された貴重な赤米を国分寺ブランド米として栽培していきたい。旧花沢橋鋼材については湧水園内に残していく。

問) 野川及び国3・4・11号線の進捗状況は。部長) 野川整備促進に東京都と検討している。

3・4・11号線について27年度に地元の説明する機会を持つよう東京都に申し上げている状況。

問) ぶんバスの万葉・けやき合体コースは。

部長) 御指摘のルートも踏まえ、地元の方々の意見や関係機関の意見も聞き、方向性を検討する。

問) 防災井戸設置の進捗状況について。

部長) 御指摘をいただき必要性は十分認識し、平成28年度の長期総合計画に事業を組んでいく。

## 給食後の歯磨き、学童と放課後子どもプラン



政策市民会議国分寺 及川 妙子

## 1. 歯と口の健康について

5年前の議会で、小学校の給食後に歯磨き指導をしてほしいと初質問した。その時は国分寺市の小学生は他市に比べて虫歯が少なかった。現状は? → 1歳半、3歳は東京都の平均より少ないが、小・中学校は小2と小5を除いて多い。地域福祉計画の健康増進計画に(6)歯と口の健康で、給食後の歯磨きをすすめます。と原案にあったが、なぜなくなったのか? → 実現可能な計画にするため。歯磨きできない理由は蛇口の数がたりない、歯ブラシの管理、時間がないこと。全員やらなくてもやりたい子どもがやることは進めてほしい。豊島区では「歯と口腔の健康づくり推進条例」をつくり具体的な推進計画もある。特に学齢期と高齢期に力を入れている。歯が丈夫な人は足も衰えず、咀嚼回数が多いと脳が刺激されて、認知症のリスクが半分になる。高齢者についての取り組みは? → 成人歯科検診と在宅の要介護者は別途電話相談、直接の訪問もおこなっている。

## 2. 学童保育と放課後子どもプランについて

(1)学童保育の問題点は? → 希望者が増えて定員40名が56名、一人あたりに必要なスペース1.65㎡が1.08㎡であるが、場所がない。

学校の特別教室を使える見込みはあるのか? → 図書室については可能な部分はあるかなと思う。

(2)放課後子どもプランの問題点は? → 教室の確次ページに続く



保が一番で、あとは安全員と地域の皆さんとのパイプ役が少ないこと。→(及)事故があった時の責任と保護者への連絡と聞いている。保護者への過大な負担は減らすべきだ。全児童対象の学童保育所で包括したらいかが?→担当課同士で十分協議して検討していきたい。

3. 都立図書館について=西国分寺駅近くで図書の貸し出しサービスをして欲しい→いずみホールでできるかどうか検討中。

4. 子どもの見守り放送の時間について→1時半から2時10分から45分の間に設定しなおす。

5. 総務省情報通信政策研究所のテニスコートについては→条件を整えば日曜日も借用可能。

## 未来を見据えた施策を!



自民党・市民クラブ 尾作 義明

### 来年度の待機児童数の予想と対応について

尾作:市人口の確保は未来に向けて大切な事柄であり、市長の目指す待機児童ゼロは重要な課題である。来年度の見込み、対応は如何か?

部長:見込みは難しいが、取り組みの効果は出ている、保育の供給量は近隣でも進んでいる。

尾作:母子の関わり、健康面から見ても0歳児対応は概ね各家庭への補助で補い、1歳児からの受け入れを厚くするべきでは?

部長:検討する。まず、待機児童ゼロを目指す。

### 小学校区へ設置予定の防犯カメラについて

尾作:都補助での防犯カメラの設置の進捗は?

部長:各小学校区において通学路での児童の安全確保のため、調査、検討を始めている。

尾作:「見守り」と合わせての活用が大切。責任の所在確認、地域の理解を進めて欲しい。

### 援農ボランティアの現状と今後について

尾作:事業が始まり約20年、現状は如何か?

部長:高齢化が進む農家の対応として農業大学から希望者を募り農家とのボランティアのマッチングを行っている。JAを母体に市も関わり農家間の連携を強め、問題への取り組みを進める。

### 遺跡調査会の解散に伴う今後について

尾作:遺跡調査会が解散し来年度に教育委員会へ組み込まれるが、進め方について伺いたい。

部長:会は別団体であったが、国の方向性に合わせて市が主体となって進めることとなった。

尾作:遺跡の調査、発掘、保存、活用と一本化する。人の活用、遺跡の活用につけて欲しい。

### 第2次国分寺市スポーツ振興基本計画について

尾作:第2次スポーツ振興計画は第1次を継承するのでは無く、現実的な計画にしてほしい。

部長:スポーツ基本法の施行からスポーツ推進計画となり、計画は教育委員会から、市長部局に組み込まれる。市民の声を聞き進める。

尾作:スポーツ振興には計画性が必要、小中学校との連動、長期総合計画にも関わる。改めて市長部局と教育委員会の連携を強めてほしい。

### 商業振興プラン実施計画の進捗について質問。

ペットボトルの有料収集について質問。

## 会派名が変更になりました

所属議員 釜我健二  
変更前 無会派(社民党)  
変更後 無会派(護憲市民)

## 戦後70年、様々な課題を前に進める一年に



自民党・市民クラブ 本橋 たくみ

●若年層定住化の取組について(本橋)若年層の定住化をはかる上で、待機児童、産前産後の包括的ケア等、子どもを産み育てやすい環境整備を行なっていく必要があると考えるが、市ではどのような考えを持っているか。(市)安心して結婚、出産、子育てをできる環境整備の充実は未来への投資であると考え、充実をはかっていきたい。そして産前産後の包括ケアについても実現していきたい。

●入札について、地域貢献されている事業者の積極的な活用を(本橋)市内業者等、地域貢献を考慮したかたちで入札を行なっていく必要があると考えるが市ではどのような考えを持っているか。(市)公共調達条例に「良好な調達実績を有する事業者及び地域社会の発展に寄与する事業者は適正に評価すること」という条文があり考慮していく必要があると考える。

●スポーツ施設の充実について(本橋)老朽化した、けやきスポーツセンター体育館、市民プールを含めて、今後複合化していき、現在のけやきスポーツセンターを多目的総合グラウンドとして整備していくという考え方が、市内にグラウンドを確保する政策として、有効な考え方だと考えるが、市ではどのように考えるか。(市)ひとつの考え方であり、様々な考え方もあってスポーツ施設の整備については考えていきたい。

●創業支援の充実について(本橋)これから税収の確保をしていく上で、創業支援を行っていくことも重要な政策であると考え、市の考え方はどうか。(市)多摩信用金庫が創業支援センターTAMAというものを設立している。こういったものと連携をして、市としても創業支援策を進めていきたい。

●戦後70年に向けた取組について(本橋)戦後70年を迎えるにあたり、戦争の記憶をしっかりと整理し、今後、戦争を起こさないためにも、記録として残す必要があると考えるがどうか。(市)地域の方々の話を伺って、情報収集しながら、検討していきたい。

## より豊かなまちづくりを目指して!



公明党 なおの 克

### ●ICT利活用の推進について

問)ICTを活用した教育によって子どもの力をより一層伸ばしていくために地元の企業や大学などと連携して授業を行えないか?

教育長)企業と民間の団体のタイアップは欠かせない要素。充実を図っていくことが必要だ。

問)国分寺駅北口再開発の新しい公益床にWEB図書館の可能性を模索できないか?

教育長)多くの市民の皆さんに利用していただくということは非常に重要なことである。

政策部長)電子書籍図書館の推進協議会が発足し、私どもも関心がある施設と位置づけている。

### ●障がい者支援について

問)ハローワークとの支援協定も視野に、具体

的に実態把握のための体制づくりに努めていくべきではないか?

福祉保健部長)障害者就労支援連絡会のメンバーについて見直す中で考えていきたい。

問)本市として、具体的に障がい者就労者数の目標数値を掲げるべきだ。福祉保健部長)全体の把握をする中で、あわせて検討していきたい。

### ●市民サービス向上にむけて

問)施設によって、予約申請方法や管理がばらばらで、市民にとって非常に分かりにくい。全体的に整理する必要があるのではないか?

政策部長)利用者の皆さんに混乱を招かないよう標準化に努めていきたい。

問)コンビニ交付を導入した場合、住民票の写しとか、印鑑登録証明書だけではなく、可能な限り取り扱う証明書を拡大していただきたい。

市民生活部長)検討していきたい。

### ●防災対策について

問)万一、火災等があった場合、避難経路がない地域の対策を求めたい。総務部長)地域の安全安心マップを活用していただきたい。

問)広域避難場所(けやき公園)の避難経路等、小平市と国分寺市の防災会で話し合うような防災面での広域連携というのが図れないか?

総務部長)詳細な内容について小平市と協議を開始していかなければいけない。

## 第4回定例会陳情の審議結果

第4回定例会では陳情3件が付託され、継続中の4件と併せて審議した結果、審議未了1件、継続6件となりました。

### 《審議終了となった陳情》

陳情第26-10号 「消費税増税中止を求める意見書」を国に対して提出を求める陳情

### 《継続となった陳情》

陳情第26-3号 「安心して暮らせる日本」にするための意見書の提出を求める陳情

陳情第26-4号 子どもたちが安心して暮らすことのできるための電波塔設置規制の条例制定の陳情

陳情第26-5号 集团的自衛権の行使容認について憲法の解釈変更に対する意見書提出に関する陳情

陳情第26-6号 介護保険対象障害者に係る障害福祉サービスの適切な利用に関する陳情

陳情第26-8号 幼稚園就園奨励費補助金の支給対象にない保護者の公的支援に関する陳情

陳情第26-9号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

## 閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

第4回定例会終了後、平成27年第1回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

1月16日(金) 議会運営委員会  
ごみ対策特別委員会

1月20日(火) 建設環境委員会

1月26日(月) 文教子ども委員会

1月27日(火) 厚生委員会(午前中のみ)

1月28日(水) 国分寺駅周辺整備特別委員会

1月29日(木) 総務委員会

2月3日(火) 厚生委員会(午後1時から)

2月18日(水) 代表者会議

議会運営委員会

委員会は市役所第1庁舎3階で午前9時30分から開始予定です。

※1月16日のごみ対策特別委員会は議会運営委員会終了後、1月27日の厚生委員会は午前中のみ、2月3日の厚生委員会は午後1時から開催の予定です。



## 地域住民の要望を反映した 本格実施走行を！



公明党 高橋 りょう子

### (1)ぶんバス北町ルート試験運行について

**問** ルート上のバス停が格段に少ない。並木公民館など要望の多いバス停の増設や運行経路等、本格実施時は利用者である地域住民の要望に沿った取り組み・検討を切望する。

**市** 市民説明会を経て12月22日から試験運行開始を予定。その中でアンケートや聞き取りする中、本運行時の実現に向け努力する。

### (2)障がい児の預かり事業について

**問** 対象者の年齢やニーズの違いで日中預かりと移動支援の相互利用を望む声がある。利用者に寄り添い丁寧なケアマネジメントを。

**市** 法律・規則が別で相互利用は難しい。現在進めている誕生月の相談体制時に個々の利用可能なサービスを紹介し対応する。

### (3)デング熱などの感染症対策について

**問** この夏、都内でデング熱の感染患者が出た。来年に向け万全な危機管理体制の整備を。

**市** 感染症予防・リスク回避のため、市民への情報提供の発信等、意欲的な周知に取り組む。

### (4)学校トイレの改修で教育環境の整備を

**問** 経年劣化により臭いや汚れ等、衛生面に課題のある学校がある。洋式化を含め改修工事で根本的解決を図るべきと考えるが、いかがか。

**市**、課題の第2小と第6小学校のトイレ改修工事は、27年度9月完成をめざし実施する。

### (5)健康施策の取組みについて

**①問** ロコモティブシンドローム予防に運動が大切。人の集う場所でNHKテレビ「みんなの体操」を5分間実際に体操し、気軽に運動習慣が身に付けば在宅でも行える。是非推進を。

**市** 高齢者の規則正しい生活リズムに取り入れ、体力向上のきっかけづくりに紹介したい。

**②問** 市制施行50周年記念に、市オリジナルメニューをと提案したところ、栄養士さん考案の「天平メニュー」が完成した。国分寺産太古からの赤米も取り入れ、更に広報宣伝活用を。

**市** 食育の観点から栄養バランスも良く、この事業は次年度以降も進めていきたい。

**その他** 防犯わんわんパトロール推進など質問。

## 人に温かい 活気ある市政の実現を



公明党 木島 たかし

### 1・公会計改革で「財政の見える化」を

**木島** 改革の目的は、現状できていない資産や将来コストを把握することで財政の見える化し、効果的に市の施設等の財産管理を行うためだ。総務省から促進の通達が出ているが市の対応は。

**部長** 現在前向きに準備を進めている。

**木島** 市長の所見を伺いたい。

**市長** 市民の理解を得ていくため、指摘のとおり公会計改革で早くあるべき姿にしていく必要性を強く感じている。全庁挙げて取り組む。

### 2・保育環境を整え、安心の子育て支援を

**木島** 定員の弾力化等、待機児童の解消を。

**部長** 弾力化も含め、最善の方法を検討する。

**木島** 前ポッポのもり跡地（4小南側）を保育

や学童等、子育て支援に資する活用を。

**部長** その方向で検討したいが、全庁的な課題なのでしっかりと協議していきたい。

### 3・スポーツ環境の整備を着実に

**木島** 施設での事故を未然に防ぐため老朽化に伴う危険箇所の修繕を計画的に進めるべき。

**教育長** 大きな課題だ。全庁的に検討したい。

**木島** 27年度からスポーツ部門が教育委員会から市長部局へ移管される予定だが、野球やサッカー等、少年少女スポーツ団体と学校が築いてきた関係を継続できるよう、お願いしたい。

**部長** 今まで通り学校と良好な関係を築きたい

### 4・ぶんバス「万葉ルート」早期実現のために

**木島** 西元町3・4丁目の住民にとっては、既存バスで国分寺駅に行けない（早朝を除いて）ことを踏まえ、車両が転回するスペース等を確保するため史跡用地を弾力的に活用することも必要だ。都市建設部と共に所管の教育委員会も都や国（文化庁）へ交渉を進めていただきたい。

**教育長** 必要性を感じている。協議したい。

### 5・来年度の予算編成のあり方について

**木島** 今後市財政は厳しいと認識する。将来世代のためにも財政の健全化が必要だ。借金を減少させ、かつ基金の積み増しを。

**市長** 非常時に備えるため財政の弾力化を確保していかなければならない。進めていきたい。

## 4年間の総括 パート2



無会派（新和会） 伊藤 太郎

### Q.市内の緑被率について

市が昭和63年に計測した数値や傾向、目標や対策について教えてください。

**都市建設部長** 昭和63年から過去三度調査しています。昭和63年は37%です。次に平成10年は30%ですので7%減です。平成20年は25.8%です。このような数字の減少が見受けられます。平成12年に策定した緑の基本計画では、平成32年度に緑被率が30%から35%に目標にしました。

**Q.**平成10年度から30%から35%の目標値に設定しています。それでは5%と上げる為にどの位の面積の緑が必要なのでしょうか？

**都市建設部長** 11.48ヘクタールの5%にあたると思います。

**Q.**この数字を見て私が思いますのは、37%から30%に減った段階で35%に目標にしている。それでは5%増やすのにはどれ位の予算措置が必要ですか？

実際の数値は30%からの4.2%ダウンですので、目標の35%が25.8%になり、推計だと9.2%の間違った推計の証左でしょう。（絵に描いた餅！）それでは将来に向かって、私たち国分寺市政は緑の確保についてどんな考え方をしているのか？もしくは実施できるのか？

**都市建設部長** 緑や緑被率の確保については、課題認識は持っています。ここで手法がいくつかは、答弁されましたが、推計や目標設定などのさまざまな取り組みに努力していきたいと考えています。

**Q.**恋ヶ窪の用水路が保全されるよう手続きに入りましたが、ユネスコのように、自然遺産、文化遺産として考えられますか？

**教育部長** 歴史的・文化的価値があり文化遺産として後世に伝えていくことは重要と考えます。

**Q.**交通事故について、市内の交通事故の40%が自転車が絡んでいます。歩行者と自転車の事故

で自動車のように保険加入出来ない自転車が歩行者を被害者にしてしまった場合、多額の賠償責任を負うという人生を変える問題になります。このように政策課題が山積しています。

## 「難病」について 理解と周知の取り組みを



政策市民会議国分寺 皆川 りうこ

### ◆予算編成にPDCAを活かすように

**皆** 子育て環境の整備は優先順位の一つか？

**市長** 今の時点でそれは一つとして考えている

**皆** 施策評価を予算編成にどう生かすのか？

**政策部長** PDCAの仕組みを導入して20年近い歴史がある。施策評価を予算へ反映させるのは初年度だ。政策部長ヒアリングの中でチェックし精度を高めて予算編成に反映させたい。

**皆** 管理職は行政評価制度を理解しているか？

**政策部長** 胸を張ってとは断言できない。マネ

ジメントする上で課題もあるが進めていきたい。

**皆** 事務事業評価シートの記載を研修の一つとして位置づけよ。法令、条例、予算等自らの仕事

を把握し改善点等気づききっかけとなる。経験のある職員が記名して記載する仕組みにせよ。

**政策部長** 理解するが、最終責任者は課長であり公開に値するものを作成すべき。職員が記載

することでマネジメントが高い職員が育つ。課

によって差があるが解決に向け進めていきたい。

◆庁内の問題、課題解決の一つ機構改革・人事

**皆** 都市開発部の管理職が増員された。再開発

事業は縮小と思うが、拡大の方向なのか？

**政策部長** 短期間での業務に対応するためだ。

**市長** 業務量に合わせて必要などころには必要

な人材を置く。先を見据えての配置とした。

◆難病はわかりにくく、誤解されることがある

**皆** 今年5月に成立した「難病法」。当事者への

支援は当然のこと、市民向けに難病について

理解を深めるよう学習会等の機会を設けよ。

**福祉保健部長** 初めての指摘だ。誤解されるこ

となく、周知等研究し進めていきたい。

**皆** 健康寿命の視点で介護予防策を進めよ。

**担当部長** 重要になるので適切に対応していく。

◆いじめ・虐待対応の面でも体制強化を

**皆** 前回も提案した婦人・母子相談員の体制強

化を。近隣同規模の他市で嘱託一人はない。業

務量に比して嘱託一人は組織として脆弱。

**福祉保健部長** ひとり親家庭の自立支援は重要。

人の増員は予算に関わる。認識はしている。

**市長** これから検討する。

## 職員間の協力が 市民サービスを向上させる！



自民党・市民クラブ 楠井 まこと

1) 職務の引き継ぎに関して。市民から、市に

相談した事柄が人事異動等を経た結果、置き去

りにされてしまった件についてご意見を頂いた。

職員同士連絡を密にし、仕事に臨む事が市民

サービス向上に繋がると思うがいかがか？

**総務部長** 規定の引継ぎと共に、経緯を後任に

伝える資料等の添付が重要だと考える。

残念ながらこう言った事柄が起ってしまう背

景には、職員同士顔が見えていない故であるよ

次ページに続く ↓



うにも感じる。職員間のサークル活動や庁内の検討委員会等の活性化等を通して、互いに思いやりを持って働ける職場環境を実現してほしい。

2) ジェネリック医薬品の推進について。ジェネリック医薬品を使用する事によって軽減される薬代の通知が行われているが、使用者の負担だけでなく、国民健康保険制度維持の為のご協力に感謝するという方向からの通知を検討して頂きたいがいかがか？

福祉保健部長) 9月から始まったばかりの制度であるので、現状把握をした後、研究する。

3) 道徳の授業について。道徳の教材を持ち帰らせていない事例があったとの報道があったが、国分寺市の現状は？

教育長) 国分寺市ではきちんと活用されている。

4) パチンコ依存症について。ギャンブル依存症は男女平均で5.6%。そのうち8割程度がパチンコ依存と言われている。例えば生活保護を受給されている方々の中でギャンブル依存に悩んでいる方がいた場合、市としては何らかの対応を取るべきと考えるがいかがか？

福祉保健部長) 自立支援の中で、東京都の相談窓口等につなげていく。

5) 若年層の健康診断について。国分寺市では30歳から行われている。これは評価すべき事だが、それでも非正規雇用で働いている方達にとっては中学校卒業から最長で15年のブランクが生じる。対策はあるか？

福祉保健部長) 国保加入者が無料で受けられる健康相談窓口がある。活用して頂きたい。

その他、SNS活用等について質問しました。

## 認知症早期発見につながる取り組みを！



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

<1>認知症支援について、医療と介護の連携強化と総合的なケアの提供を進めるための取り組みについて検討状況を伺う(答) 高齢者を地域で支えるためには多くの機関がかかわることが必要。地域ケア会議の医療・介護連携部会で事例をもとに考え方の共有を図ってきた。今後、高齢者を支える支援体制を推進するための必要で具体的な取り組みについて検討していく。

(問) 医療だけでは見えてこない福祉の課題や福祉ではわからない医療の問題をどのように共有し解決するのか、その体制づくりが重要だと考える。現在は、関係機関で協議を進めているが、地域資源をどうするか等の検討にあたっては市民意見の反映を！また、認知症支援に関する私の問題意識に「早期発見」がある。社会とつながっていることや認知症への理解が重要だ。認知症サポーターを募り、親しみやすい工夫で理解を広げる役割を担っていただいているかどうか？(答) 認知症サポーターが組織化されていない課題がある。検討する<2>地産地消の拡大について、地場野菜を使った期間限定の特別メニューが地域の飲食店で提供されるなど、地場の食材に注目が集まっている。日常的に地場野菜を使っただけの販路の拡大、出荷、流通の体制づくりを！(答) 来年度にかけて、第3次農業振興計画を策定する過程で検討を進めたい<3>緑と花のあるまちづくりについて、花のある景色は人々の心を和ませると同時にコミュニティのきっかけになる。また、土に触れることで心身ともに力を得ることも期待できる。市では、公園サポート事業を実施しているが、

清掃等の美化から発想を転換し「公園に花を植えますか」と呼びかけてはいかがか？結果として美化につながると考える(答) 地域の公園がより地域の方に親しまれていくことにつながると思う。進めていきたい(問) 公園の写真や参加団体の紹介等、アピールを！(答) 検討したい<4>水循環と雨水について、雨水を下水に流さずタンクに集め利用することは、水循環を守り、災害時にも有効だ。雨水利用の周知を！

## 市民の立場に立った情報の公開・提供を！



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■情報公開の現状と課題 岩永自治基本条例では「知る権利を保障し、参加と協働を推進します」と謳われているが、オープナーの現状を含めて、市民への情報公開・提供が適切に行われているとは言い難い。HPの活用も含め、配架や公開方法の早急な整備を。答今回の調査をきっかけにルールを作っていく。岩永国分寺駅北口再開発ビルの公益施設では、ICTの活用も含めて、市民の情報の受発信の場となる工夫を。答市民意見もふまえて整理していきたい。

■権利擁護と成年後見制度 岩永高齢者・障がい者の経済的虐待の防止、権利擁護という観点からも成年後見制度の必要性が社会的に認識されている。後見人候補者養成事業と法人後見の今後の取り組みについて伺う。答養成事業は、市民後見人のフォローアップ研修の実施を検討中。現在策定中の地域福祉計画、障害者計画・障害者福祉計画では、法人後見支援について検討されている。他市を参考に検討していく。

■通学路の安全対策 岩永近年、全国的にも登下校中の子ども達が犯罪の被害者となる事件が後を絶たない。市内でも小・中学生の保護者から不安の声が聞かれる。「子ども110番の家駆け込み体験訓練」等、地域を巻き込んだ体験型の訓練を通して、防犯まちづくりの更なる充実を。教育部長)モデル自治体の成果・課題を検証し、研究したい。総務部長)地域・警察等と連携を図り子どもの見守り環境を充実していきたい。

■自転車の安全対策 岩永平成25年の市内交通事故の自転車関与率は45.4%と高く、都内でワースト4位であった。地域の自転車事業者等とも連携し、利用者へのマナー啓発、自転車整備や自転車保険への加入を勧める等の働きかけを。答効果的だと思う。実態把握から始めたい。

岩永交通危険箇所への路面標示・立看板設置も含め、市をあげて自転車事故防止の取り組みを。

■投票率向上の取り組み 岩永高齢や障がい等で投票所への移動が困難な有権者へ、利用できる福祉サービスの周知を。答重要な問題だと考えている。福祉と連携し、PRしていきたい。

## 本運行に向けた市民の為に北町ルート設定を



自民党・市民クラブ 田中 政義

1. ぶんバス北町ルートについて  
～これまで定例会の度に一般質問で求めてきたぶんバス北町ルートの開設について、試験運行が12月22日より実施されており、本運行に向けた課題について質問しました～

問) これからの市内の道路状況、市の財政状況等を考えると隣接市との広域連携ということも視野に入れて考えていく必要があるのでは。都市建設部長) 隣接市とは、今年度内に広域連携についての意見交換を実施して、まずは情報の共有を図っていく。

問) 本運行の見込みはどのようになっているか。都市建設部長) 試験運行での課題を検証し、平成27年度の6月から7月を目途に取り組んでいきたいと考えている。

問) 説明会での多くの方からの要望にもあるように、是非、利用しやすいものにして頂きたい。既存バスルートである北町公園前を通るルートや公民館を経由するルート、またバス停の増設等の実現に向けて御尽力頂きたい。

### 2. ごみ回収事業について

問) 北町地域のペットボトルの回収拠点が北町地域センターしかない。戸別回収を望む声というのが少なからずあるが、市の考え方を聞く。

環境部長) 戸別回収を行った場合の生産者責任の明確化や中間処理場の問題等があり、現在は引き続き拠点回収場所の拡大に努めていく方針である。排出が困難な方々の対応については、どのような対応が図れるのか検討していく。

### 3. 国分寺駅北口再開発事業について

問) 賑わいの創出という点に於いて、商工会に展示・保管されている七重の塔を再開発事業完了の暁には、新たに整備される立体通路中央部に展示できないかと考えるが如何か。

市長) 国分寺のシンボルであると考え。クリアすべき課題もあると思うが、面白いアイデアだと思う。前向きに検討していきたい。

その他) 砂川用水の今後について、消防団活動について、スポーツ施設整備について、新町・高木町の公共施設整備について質問しました。

## 2月22日に「日曜議会」を開催します

市議会を傍聴してみませんか

平成27年第1回定例会は、2月20日(金)から開会の予定です。また、平日に議会の傍聴に来られない市民の方に議会の傍聴していただけるよう2月22日(日)に本会議を開催し、市長の施政方針に対する各会派の代表質問を行います。

議会はどなたでも傍聴でき、審議に関連する資料も自由に閲覧できます。

ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますよう、多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場、委員会は同委員会室で午前9時30分から開始予定です。

## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

平成27年第1回定例会(2月20日開会予定)からの審議を希望する方は1月30日(金)までに提出してください。

## 音声配信について

市議会では、平成26年11月27日から12月3日に行われた第4回定例会「一般質問」の様態を、国分寺市議会のホームページで音声配信しています。ぜひご利用ください。



## リスクマネジメント 市民満足度の向上へ



自民党・市民クラブ 尾澤 しゅう

### ①災害時にこそ、正確な情報の安定供給を求め

質問：災害時に市ではホームページ等を使用し、様々な情報発信をしていく。現在、市ホームページは市民から多くのアクセスがあった場合、ホームページを閲覧がしにくい状況やサーバーが落ちるような可能性がある。市は民間の情報通信事業者と協定（アクセス負荷を軽減するサービスがある※無償）を結び通信障害が起きるリスクを極限にまで下げるべき。

答弁：ホームページの通信障害に対してかなり有効な手段であると考えている、担当部署と調整・協議して検討して参りたい。

### ②小中学校における楽器不足の解消へ

質問：近年、小中学校で吹奏楽が盛んです。子ども達は市内の数々のイベントで出演しています。イキイキとした顔で演奏する子ども達にどの会場でも拍手喝采です。しかし、現場では楽器が不足している。このように特色ある教育や学習に対し市と教育委員会はしっかりと財政面でも支援していくべきと考える。

答弁：市では brass band、吹奏楽を教育面からも推奨していきたい。御意見を承りましたので、平成27年度予算の中で考えたい。

### ③弁天通りの渋滞解消に向けて

質問：西町3丁目、5丁目の交差点で右折車両に起因する渋滞が発生している。特に朝夕は車両が集中し混雑するとの声が地域の方々からある。当該地域の道路整備や交差点改良などを行い、渋滞解消に向けて取り組んで頂きたい。

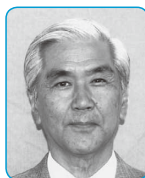
答弁：本年度に当該交差点の交通量調査を行い、その結果が3月に出来ます。それをもって検討致します。また、地元の方々のお声も聞きまして参りたいと考えています。

### ④IT化の推進

質問：紙や印鑑で行ってきた行政手続きや情報公開が行政のIT化を進めることにより時と場所を選ばずに行うことが出来るようになる。市民がどのような行政サービス向上を求めているかをしっかりと調査、把握してIT化を進めるべき。

答弁：しっかりと調査してIT化進めていく。

## 防犯カメラ導入の 個人情報保護対策は十分か



無党派（護憲市民） 釜我 健二

釜我＝教育委員会として平成27年度に各小学校の通学路に5台ずつの防犯カメラを設置する考えが示された。しかし、市の「防犯カメラの適正な運用に関する基準」では、導入するには「情報公開・個人情報保護審議会の意見を聴かなければならない」とされている。また市の「小中学校防犯カメラの適正な運用に関するマニュアル」では「学校敷地外への不特定の第三者に対する撮影は行わない」と厳しく個人情報収集に制限を設けている。教育委員会は、まずは「審議会」の意見をよく聴くとともに制定すべきルールはどうあるべきか再検討すべきだ。

教育長＝市の「基準」に抵触するとの指摘なので、ご指摘を重く受けとめ、基準等にのっとり

て手続きをしっかりと踏んで行っていきたい。

### 指定管理者制度を市民目線で総括すべき

釜我＝この間、指定管理者制度が導入された施設で様々なトラブルや事件等が発生してきた。また、事業者も行政側も協定書・仕様書を読んでいないのでは、と思われる事態さえ起きている。指定管理者制度の運用指針の見直しだけでなく、施設毎の制度導入の是非も含め抜本的に市民目線に立った全体的な総括をすべきだ。

市長＝指定管理者に任せるのではなく、市が責任を持つ市の仕事であるとの意識が必要だと思う。利用者の意見を把握して課題を解決するために関係部署で打合せ会を持った。今後、指定管理者全体を束ねる担当部署を設けて改善を図る。

### 公民館運営審議会一本化後の対策は

釜我＝公運審を一本化すれば各地区の市民の知恵と力をどう結集するかが課題となる。この点を教育委員会としてはどう考えているのか。

教育長＝館長と職員だけの公民館運営は本来の姿ではない。地域住民と一緒に運営するための「サポート会議」を立案しているところだ。

### 生ごみ堆肥化の推進で生ごみ減量の目標達成を

釜我＝今後のごみ減量のポイントは生ごみ堆肥化だ。取り組みを強化して減量目標の達成を。環境部長＝27年度は小学校区2校で生ごみ回収を始める。目標達成に努力していきたい。

## 大型開発優先 市民に負担を押しつける市政



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

### 《市民活動を後退させる公共施設の有料化は中止を》

問) 国分寺駅北口再開発には200億円もの市税を投入しながら、市民にはあの手この手で負担を増やしていく。公共施設の有料化はまさにその典型。公共施設での市民活動の意義をしっかりと捉えて守っていくのが市の立場ではないのか。政策部長) 市民活動がコミュニティに寄与し、生きがいなどに通じていることは理解している。しかし、受益者負担の適正をどう考えるのか、議論する必要がある。

\*有料化によって、市の財産ともいえる市民活動を市が自ら崩そうとしている。有料化ではなく、公共施設での市民活動をより発展させる取り組みに力を入れるべき。

### 《利便性・安全性確保の視点で西武恋ヶ窪駅東口開設を》

問) 恋ヶ窪駅東口について、以前から地元住民のみなさんを中心に開設を求める声が今なお強くある。市として開設の方向を固め、西武と改めて協議すべき

都市建設部長) 開設の費用負担の整理が難しい課題だが、踏切の安全性の向上につながることから継続して西武鉄道と協議する。

市長) 安全対策として東口ができればいいと思う。西武鉄道に要請していく。

### 《緑地の適正な管理を》

問) 熊野神社北側の恋ヶ窪用水路周辺緑地を市は公有化をめざして手続きを進めている。その緑地の管理について、緑地西側の道路に枝などが大きく越境している。さらに、当該部分については、剪定などの一定規模の整備は数年間にわたりしていない。適正な管理といえるのか。

都市建設部長) およそ3年に一度、規模の大きな整備をしている。当該地においては来年度実施したいと考えている。

\*その他、放課後子どもプランにおいて、教育委員会の保護者への対応の改善を求めた。

## 切実な住民要求の実現を 介護の水準維持を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

### ＜内藤地域にぶんバスを＞

岡部：(市内の) 公共交通不便地域を全て解消するという考え方でいくのか。

都市建設部長：現在解消されていない地域は大きく3地域という認識で、ぶんバスを北町・万葉・けやきの3ルートを検討を進めている。

岡部：内藤地域は市役所や福祉センターから遠く、交通手段が無い。高齢の方を中心に買い物など生活するにも不便な地域、と声が寄せられている。日吉町ルートの一部を変更して、内藤地域にもぶんバスを。

都市建設部長：道路法の車両制限令に基づく道路幅と、多喜窪通りを運行するとなると既存の路線バスとの競合という2つの理由で難しい。

一方、内藤地域の公共交通不便地域は「詳細に見ますと全面的に解消されている状況ではない」という答弁がありました。

### ＜西国分寺駅東口開設の早期実現を＞

岡部：前回の私の質問から検討を進めたか。

都市開発部長：市が費用を持つことになるので財政的に大変厳しいこと、(駅北東地域への出入口を造るには) 都市計画がまだ改正されていないという2つの問題がある。必要性は充分認識している。市だけの問題ではなく、都やJRにもこの状況を知ってもらうことも大切。

岡部：過去の話になるが、費用について都と住宅関連業者と市が3分割して負担する案もあったと聞いている。その計画は棚上げになってしまったという経緯があるが、そうであればゼロからではなく仕切り直しすることも可能では。都市開発部長：幾らかかるかの試算は行なったことがあるが、負担のルールづくりについては記憶にない。経済的な問題だけではなく、改札口を設置となると市の責任が発生する。

岡部：長期総合計画に既に載っている問題。放置するのでなく実現のために進めるべきだ。

※ 介護保険制度の改正についても質問し、要介護認定を申請する権利を奪うような姿勢は取らないことや、一般財源も活用することで現行サービスを維持することを市に求めました。

## 北口再開発の市民負担は 200億→463億超



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野◆国分寺まつりへの政治介入について◆九条の会やBye-Bye原発の会、ちょっと待って原発の会が「政治的意味合いのある団体」だとされて、出店できなかった。政治的意味合いのある団体を制限する文言の根拠は何か。

部長(根拠は一切答えず) 実行委員会による判断、市は政治介入していない。(と繰り返す)

幸野昨年市議会において一部の議員が「特定の政治的考えのブースがあるまつりへの補助金支出はふさわしくない」と質問し、市が「御指摘の趣旨に沿う対応を検討する」と答弁し、  
次ページに続く▶



の後市が暗躍して介入したことを問うている。市は公益性を担保すると言って、この団体を排除してきたが、自治基本条例第2条の定義では、この団体は公益団体ではないのか。

**部長** 公益的活動の中にその団体等も入る。

**幸野** であれば、公益性を担保すると言いながら、公益性がある団体を排除したことになる。早急に市の姿勢を正して実行委員会に意見を。

**部長** 市への意見として実行委員会に伝える。

**幸野** ◆北口再開発を事業者中心ではなく利用者本位に ◆工事が始まり、駐輪場の台数やバス停・タクシー乗り場の利便性が後退している。

**部長** 駐輪場については、数十台でも確保できないか検討している。バス・タクシー乗り場についてはシェルターと照明を検討している。

**幸野** これまで再開発の市民負担は約200億円だと説明されてきたが、私が請求した資料によると、実際には463億円だった。

**部長** 結果的には保留床処分金150億円を差し引いて、313億円が市の負担額になる。

**幸野** 市の財政が厳しいのは再開発が最大の原因だ。更に検討されている西国分寺駅の北口再開発は再開発でなく道路と広場に限定すべき。

◆熊野神社通りと西武国分寺線について ◆住民合意に向け、沿道まちづくりの枠組みを。

**部長** 議員の提案は提案として受け止める。

**幸野** ◆連雀通りや国分寺街道について ◆道路に突出している電柱など、民有地へと移設を。

**部長** 移設できるものがあるか調査したい。

## 市民活動・協働推進の真の意義を認識せよ



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

**問** 本来の市民活動・NPO活動は、行政も民間企業も取り組まないような地域課題の解決、すき間を埋めていくことをミッションとしている。また、市民の側からしても、対象者や利用範囲が限定される行政のサービスとは別に、市民活動・NPOならではの自由な発想によるきめ細やかで対象者に寄り添ったサービスを選択できることは暮らしやすさにもつながる。そういうことから、市民団体やNPOが活動するための財源確保など、市民が主体的に活動できる環境整備をすべきと思うが、いかがか。

**市長** 市民の自主的な活動を行政が何らかの形で応援することは必要である。参考にしたい。

**問** 提案型協働事業で、既存事業への提案をしようとしたが、事前協議の過程で事業担当課が拒否したケースがあったと聞く。協働推進・対等と謳いながらも、事務局である協働コミュニティ課も含め、「行政にとって都合のいい協働」を推進しようとしているのではないか。

**政策部長** 「自分にしかこの仕事ができない」と職員が勘違いしている。協働の考え方、PPPによる位置づけをしっかりと認識し、協働のしく

みをさらに強めるように整えていきたい。

**問** 東京都の特別支援教育推進計画第3次実施計画に基づき、通級指導が巡回型になるが、教員配置やハード整備等の財源保障などの情報収集を進め、必要であれば課題改善を求めべき。**教育長** 思いは同様である。まだ都から説明がないが、その点については声を上げていきたい。

**問** 市の基本計画は義務教育時のみであるが、特別支援教育は幼稚園から高校まで続く。市教委では対応し切れなかった就学前と中学卒業以降について、つくしんぼがつなぎ、切れ目のない特別支援教育を実現していただきたい。

**子ども福祉部長** どのような支援が必要なのか情報収集しながら進めていきたい。

**問** 「3. 11を忘れない」をテーマに、学校キャンプで「カエルキャラバン」の実施を。

**教育長** 担当課と連携をとりながら研究したい。

**総務部長** 活動できる体制はある。協力したい。

## 中学生の人生を左右する 内申評定に正確度を



無党派（無所属） 甲斐 よしと

**問** 例として3中の1学期の評定分布を資料請求したが提出されていない。出さない根拠は？

**教育長** 都の教育委員会の通知により、特定の学期、個別の学校名では公表しないとしている。公表しているものは都のHPに12月31日現在で都内、市区の学校名が特定されない形で中学校別評定割合（現時点昨年度）を代わりに示した。

**問** 「年間指導かつ評価計画」は教科毎フォーマットがバラバラ。評価の仕方はどう数値化するか明かにすべき。評価の精度を高める為にも。**教育長** どこができれば4とか3というものはありませんけれども、専門的な部分をかみ砕いてわかりやすくする取り組みを研究したい。

**問** 国の全国学力学習状況調査が市区毎に公表されていた時、26市中国分寺は小金井と1、2を争っていた位、国分寺の生徒は優秀だ。私達の在学中から標準偏差が1位だと言われていた。14年度以降、絶対評価になったから他市より高い評価なら解るが、必ずしもそうでもない数字だ。だから、もし不満を訴えれば評定値に対する数字的根拠の説明責任を果たすルールになっている事を学校側で再アピールすべきだ。より緊張感、慎重さを持ち正確な評価のために。

**教育長** 成績に納得がいけない事にそれだけの材料を持って説明責任を果たせる評価をするよう指導し、研修も進めてまいりたい。

**問** この件を含め、生徒・保護者の意見を伺う学校評価の調査にて、記名で封もせず担任に渡す形は前近代的だ。記名なら封をせよ。

**教育長** 学校と話し適切な方法に変えてまいる。

オンブズパーソンの勧告は重い！市政初だ！

**問** (仮称) 新町樹林地をNPOが利用するにあたっての工事に対し、オンブズパーソンから勧

告を受ける失態だ。「着手したものは一時停止し4項の対応が完了するまで設計、工事を行わないこと」とされている。真摯な対応がない。

**市長** オンブズパーソンが勧告したから、市長の行政執行権を超えて、市長は要らなくなってしまうのではないかと。市長以上の権限を持つのか。

**問** 第三者制度を冒瀆する市の姿勢は問題だ。

## 50周年の節目に 持続可能な市財政の構築を！



政策市民会議国分寺 木村 徳

**木村** 市の借金である臨時財政対策債を26年度は借りてしまっているが、借りるべきではないと主張してきた。27年度はどのような考えか。

**政策部長** 収支均衡を目指し、借りないで行きたいという気持ちだ。

**木村** ふるさと納税に関し、このままでいいのかという視点で指摘を続けてきたが、受け入れられなかった。その結果としての現状は。

**政策部長** 4件で20万円のみだ。

**木村** 50周年を機にふるさと納税を強化するとした結果がこれである。市の独自性を財政につなげる発想が必要であり、その1つはロケット発祥の地の活用だ。JAXAも公の機関で、財政難は共通課題でもあり協力は得られると思う。**政策部長** 27年はペンシルロケットから60年の節目の年である。ペンシルロケットにこだわってそれを税収につなげていく。

**木村** 今後税収入は頭打ちになり、一定規模以上の税外収入を見込める仕組みを作るべきだ。

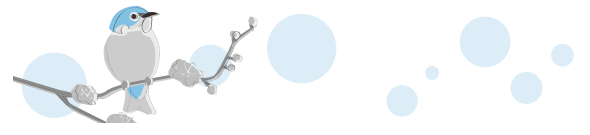
**市長** 今後毎年3～4億増えていく扶助費を歳入で手当てしていかなければならず、ペンシルロケットもその一つとして組み込んでいく。

**木村** 社会スポーツ振興課による架空・違法な事務処理で関係職員が懲戒処分になったが、この原因として、課長が最終決裁者となる「主管課契約」がある。再発防止のために、主管課契約の仕組みを今後どのように考えていくのか。

**総務部長** 本来、主管課契約は地方自治法でも極めて限定的なものである。再発防止策として庁内全体へ制度周知のための説明会を開催すると共に、27年から新内部系システムを導入する。

**木村** 国分寺駅北口再開発は、一見順調に進んでいるようでも、実際には決してそうではなく、事業が止まりかねないようなことまで起きている。この原因は独立した都市開発部にあるのではないかと。再開発に伴う政策課題は全庁的であり、組織的にも全庁的な取り組みをすべきだ。

**市長** 全庁的に情報を共有しながら市として市民の方々に説明責任を果たせるよう、再開発を市全体で取り組んでいく。



## 意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。ここでは、各意見書の要旨を掲載しており、全文についてはホームページに掲載しています。

### 意見書第6号 雇用の安定を求める意見書

我が国は、働く者の大多数が雇用関係のもとで働く「雇用社会」である。この「雇用社会日本」の主人公である雇用労働者が、安定的な雇

用と公正な処遇のもとで安心して働くことのできる環境を整備することは、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会の持続的な成長のために重要である。

こうした中、政府では、「解雇の金銭解決制度」、「限定正社員」、「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入など、法改正をはじめとしたさまざまな検討を進めている。

一方、労働法制の見直しにあたっては、労働者から不安視されていることもあり、労働者の

安定した雇用環境や、健康で安心して働くことのできる環境を整備することが求められている。

よって、国分寺市議会は国会及び政府に対し、下記の事項について要望する。

1 労働法制の規制改革にあたっては、使用者と労働者側の双方の意見を踏まえた議論に基づき慎重に対応すること。

2 労働者派遣法の見直しにあたっては、より安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた制度を整備すること。



第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には議案44件が提出され、撤回1件、同意9件、承認3件、可決31件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 44 rows of legislative proposals and their outcomes.

第4回定例会における賛否の分かれた議案に対する議員の表決結果

Table showing voting results for specific proposals. Columns include 議案名, 議員名 (尾澤, 新海, 楠井, etc.), and voting status (賛成, 反対).

・表決 (○=賛成 ×=反対) ・会派名 (政策市民=政策市民会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)